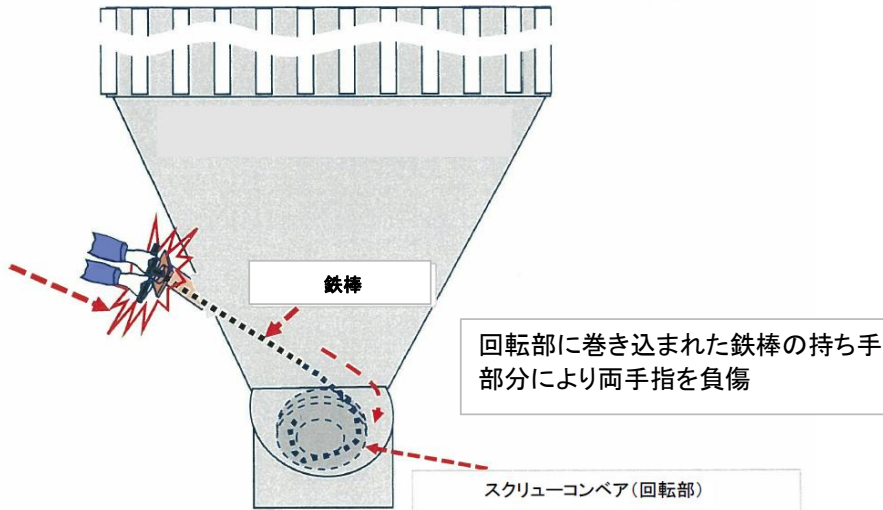


公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 5年 8月 8日(火曜日) 21時40分			工事関係者区分	元請け
事故区分	挟まれ・巻き込まれ	性別	男性	年齢	51	業種区分	
被災程度	左示指基節骨開放骨折、左中指基節骨折等			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	8か月
委託概要	施設運営						
事故概要	集じん器の詰まりを取り除く作業中に、両手指を負傷したもの。						
事故原因	①作業に係る手順書がなく、回転部を停止せずに作業をしていた。 ②回転部に巻き込まれる危険性のある長さの作業用鉄棒を使用していた。						
改善策	①作業手順書を作成し以下の操作を順守することで、作業時の回転部停止を徹底する。 ・作業前に回転部を停止する。 ・制御盤に操作ロックを行い誤起動を防止する。 ・制御盤に操作禁止札を掲示する。 ②手や指の保護ができ、回転部に届かない長さの専用の鉄棒を用いて作業する。						

事故状況図



改善状況図

作 業 手 順		作業要領	安全対策(注意事項)
目的(ねらい)と作業		目的(ねらい)と作業	安全対策(注意事項)
作 業 手 順		作 業 手 順	安全対策(注意事項)
1	作業前準備	① 作業前、作業場所の安全を確認し、作業範囲を明確にする。 ② 作業前、作業範囲を明確にし、作業範囲を明確にする。 ③ 作業前、作業範囲を明確にし、作業範囲を明確にする。	作業前、作業範囲を明確にし、作業範囲を明確にする。
2	作業開始	① 作業開始、作業範囲を明確にし、作業範囲を明確にする。 ② 作業開始、作業範囲を明確にし、作業範囲を明確にする。	作業開始、作業範囲を明確にし、作業範囲を明確にする。
3	作業完了	① 作業完了、作業範囲を明確にし、作業範囲を明確にする。 ② 作業完了、作業範囲を明確にし、作業範囲を明確にする。	作業完了、作業範囲を明確にし、作業範囲を明確にする。

作業用手順書を作成



手指保護付の作業用鉄棒を製作